

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地													
麻生外語観光&製菓専門 門学校		平成3年1月8日		竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 03-6734-2939													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地													
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999													
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士														
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・リゾート科		平成22年文部科学大臣告 示第31号	—														
学科の目的		都市型ホテルやリゾートホテルにおいて、即戦力となり得るホテルマンの育成を目指し、ホスピタリティー実践のために必要な宿泊・料飲の実務を学び、更にホテルでの実習を加え即戦力を身につける																	
認定年月日		平成26年3月31日																	
修業年限	昼夜	講義		演習	実習	実験	実技												
	昼間	1950時間	595時間	425時間	440時間	0時間	545時間												
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数													
80人		86人	8人	3人	19人	22人													
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日 *1年次はホテル実習のため学期を 分割して運営			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価														
長期休み	■夏 季:8月8日～9月11日 ■冬 季:12月24日～1月10日 ■春 季:3月14日～4月3日			卒業・進級 条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。学科責任者との面談、三者面談の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動														
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ホテル業界を中心としたサービス業界全般			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)														
	■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レストランサービス技能 検定3級</td> <td>②</td> <td>36人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>ホテルビジネス実務検 定ベーシック2級</td> <td>③</td> <td>34人</td> <td>29人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	レストランサービス技能 検定3級	②	36人	33人	ホテルビジネス実務検 定ベーシック2級	③	34人	29人
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数														
	レストランサービス技能 検定3級	②	36人		33人														
ホテルビジネス実務検 定ベーシック2級	③	34人	29人																
■卒業者数 35 人 ■就職希望者数 35 人 ■就職者数 34 人 ■就職率 : 97.1 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 97.1 %			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																
■その他 ・進学者数: 0人			■自由記述欄																
中途退学 の現状	■中途退学者 6 名 平成28年4月1日時点において、在学者84名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者78名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の原因 進路変更による退学、健康上の理由による退学			■中退率 7.7 %															
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 前年度給付対象なし																		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																		
当該学科の ホームページ URL	http://www.asoiuku.ac.jp/aftc/subject/hotel/																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により実施する、10週間のホテル実習を通してホテル業界において必要とされる知識・技能を取得する。実習内容については、卒業に対する「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし業務内容・実習期間・評価方法を明確に定め、その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗効果を図る。

また企業からの評価により、各自の目標が明確となることで、具体的な学習につながる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。

委員会は、次の事項を審議し、会議の結果をカイキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任が主催するカリキュラム会議において、教育課程編成委員会からの報告内容を参考にして学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
加藤 博志	九州B.M.C. 会長	H29/4/1～H30/3/31	①
大家 寿	株式会社ホテルニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	H29/4/1～H30/3/31	③
郡島 奨	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任	H29/4/1～H30/3/31	
稲岬 明子	麻生外語観光&製菓専門学校 ホテル・リゾート科 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	
木村 匡志	麻生外語観光&製菓専門学校 ホテル・リゾート科 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間開催数)

年2回(6月・10月)

(開催時期)

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30～16:50
平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30～16:10
平成29年度 第1回 平成29年6月21日 16:30～17:00
平成29年度 第2回 平成29年10月18日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

ホテルでの必要性において、より多くの学生が幅広い接客技術を習得させたいとの理由で、「手話」の3コマは少ないとの意見が出た。次年度独立した科目として8コマに増やすこととした。また海外インターンシップコースの授業に関しては、「文化観光地理」の授業で、インターンシップ先であるニュージーランドの文化等を学ぶが、海外だけでなく日本文化や日本地理も改めて学ぶことでインターンシップ中に日本のことを伝える場面で役立つのではとの意見から、「文化観光地理」の授業への日本の文化観光地理の導入を決めた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

1年次に10週間のホテル実習を経験し、接客に必要なコミュニケーション能力向上を図り、現場に必要なスキルと知識・実務を学習する。

実習中は専用ノートを使用し、毎週ごとに課題に対しての成果を記録する。
この記録を継続することで具体的な実習の成果を認識することができる。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

ホテル実習

- ・覚書にて、業務内容・勤務時間等の勤務時間を確認する。
- ・専用記録ノートにより、具体的な業務の指示を明確にし、成果を確認する。
- ・最終評価として、実習先企業より学生ごとの評価表を作成してもらう。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル実習	企業連携により実施する10週間のホテル実習を通して、サービスにおいて必要とされる知識・技能を修得する。また、配属された部署を通して、ホテル組織の仕組みや部署間の連携を学ぶ。	セルリアンタワー東急ホテル、京都ブライTONホテル、神戸ポートピアホテル、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、更に即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。

定期的実施されるホテル系関連団体の会合等に参加し、業界に関する情報交換やトレンドの研究を把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: トランジット流、話題を作る空間プロデュース術

講師: (株)トランジットジェネラルオフィス 代表取締役社長 中村 貞裕様

目的: 人気の料飲施設をプロデュースする講師の話を幅広い授業展開に活かす

内容: レストランプロデュースに関するヒントの紹介と現在のレストラン業界の動向、上記企業の取り組み

日程: 平成28年7月20日(水) 16:00-18:00 西鉄グランドホテル2階宴会場

主催: 九州BMC

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: インプレッショントレーニング

講師: 重太みゆき氏(印象行動学者)

内容: サービス業における顧客対応スキルの向上についての学生指導法

日程: 平成29年2月11日

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 熊本城の地震被害と復旧

講師: 網田 龍生様(熊本市経済観光局 文化スポーツ交流部)

目的: 地震被害から売り上げ回復のため、地元の経済復興に対してホテルが行う取り組みを知ることで、学生への情報還元(対象は九州BMC会員及び賛助会員)

内容: 地元観光の活性化のため、ホテルが行う取り組みについての講話

日程: 平成29年2月7日(火) 15:30-16:30 ホテル日航福岡にて

主催: 九州BMC

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: カウンセリングⅠ

講師: 廣田 哲成氏(日本交流分析協会 准教授)

内容: 学生への話し方、面談の仕方、指導の仕方の基本的なルール、注意点を学ぶ。

日程: 平成29年5月17日 16:00～17:30

研修名: カウンセリングⅡ

講師: 廣田 哲成氏(日本交流分析協会 准教授)

内容: ロールプレイングによるケーススタディで、個別面談の仕方を学ぶ。

日程: 平成29年5月24日 16:00～17:30

5月25日 16:00～17:30

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。

また、情報を公開することにより、開かれた学校作りを行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5) 学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	ADの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生の声を参考に授業内容を改善する取り組みは良い旨の評価をいただいた。ホテル実習に参加した学生たちからも学習を希望する技術や知識などを聞き取り、カリキュラムだけでなく、シラバスなど授業内容への意見の反映を継続的に取り入れていくこととした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウェディング科2年生 保護者	H28/4/1～H30/3/31	保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
高島 妙美	平成21年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生

浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	H29/4/1～H31/3/31	自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校	H29/4/1～H31/3/31	校長
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H29/4/1～H31/3/31	団体
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H29/4/1～H31/3/31	団体
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H29/4/1～H31/3/31	団体
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長	H29/4/1～H31/3/31	団体
長 加奈子	福岡大学 准教授	H28/4/1～H30/3/31	教育機関
松永 陽子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	H29/4/1～H31/3/31	企業
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 グランドサービス部 ラインハンドリング課3課 マネージャー	H29/4/1～H31/3/31	企業
小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長	H29/4/1～H31/3/31	企業
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	H29/4/1～H31/3/31	企業
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長	H29/4/1～H31/3/31	企業
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長－人材開発担当	H28/4/1～H30/3/31	企業
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長	H28/4/1～H30/3/31	企業
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	H28/4/1～H30/3/31	企業
藤田 敦子	ロイヤルホールディング株式会社 人事課長	H29/4/1～H31/3/31	企業
安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部	H28/4/1～H30/3/31	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年9月)

URL:<http://www.asoju.ac.jp/disclosure/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校法人の沿革、教育の目標、学則、諸規程
(2)各学科等の教育	学科の教育方針、年次別目標、目標資格、カリキュラム、進級・卒業要件、他

(3)教職員	教員一覧、専任・兼任教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	グローバルシティズンベーシック、インターンシップ、教育課程編成委員会
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭、ボランティア活動、クラブ活動
(6)学生の生活支援	臨床心理士による学生相談室、ハラスメント相談、留学生支援、障がい者支援
(7)学生納付金・修学支援	金額・納付時期、分割納入制度、授業料減免、奨学金、被災地支援
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生専用学生寮
(11)その他	
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)情報提供方法 パンフレット、募集要項、学生便覧、Webサイト URL: http://www.asoju.ac.jp/aftc/	

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ホテル・リゾート科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホテル概論A	ホテルの歴史、組織などホテル業界全般について基礎的な事項を学ぶ	1 ①	20	1	○			○	○			
○			ホテル概論B	ホテルの歴史、組織などホテル業界全般について前期から応用させた内容を学ぶ	1 ③	20	1	○			○	○			
○			ホテル産業演習	演習を通してホテル業界への理解を深める	1 ③	20	1		○		○			○	
○			レストラン実務A	レストランでの基礎的なサービスについて実践形式で学ぶ	1 ①	40	2			○	○		○		
○			レストラン実務B	レストランでのサービスについて前期から応用させた内容を実践形式で学ぶ	1 ①	40	2			○	○		○		
○			宿泊実務 I	宿泊部門の役割、業務内容について基礎的な事項を実践形式で学ぶ	1 ①	40	2			○	○		○		
○			宴会実務	ホテルの宴会部門のサービスについて実践形式で学ぶ	1 ①	20	1			○	○		○		
○			ホテル業界研究 I	さまざまなタイプのホテルを自ら研究し、業界理解を深める	1 ①	20	1		○		○			○	
○			一般教養 I A	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1 ①	20	1	○			○			○	
○			一般教養 I B	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1 ①	40	2	○			○			○	
○			サービス接遇	サービス接遇検定の取得を目指す	1 ① ③	40	2	○			○		○		
○			ホテル英会話 I A	ホテル業界人として必要な基本的な英語表現を学ぶ	1 ①	20	1			○	○		○		

○		ホテル英会話 I B	ホテル業界人として必要な基本的な英語表現を学ぶ	1 ①	20	1			○	○	○			
○		実用英語 I A	実用英語検定 2 級、準 2 級取得を目指す	1 ①	45	3	○		○	○				
○		実用英語 I B	実用英語の取得、TOEICの高得点取得を目指す	1 ③	40	2	○		○	○				
○		コミュニケーション技法	自分を表現する手法として人前で話す能力を養う	1 ③	20	1		○	○			○		
○		Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定 3 級の取得を目指す	1 ①	45	3			○	○			○	
○		Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定 3 級の取得を目指す	1 ③	40	2			○	○			○	
○		社会教養 I A	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	1 ①	20	1	○		○			○		
○		社会教養 I B	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	1 ③	20	1	○		○			○		
○		ペン字	社会人として日常業務に必要なペン字の基礎的な知識、技能修得を目指す	1 ③	20	1			○	○			○	
○		GCB(グローバル タイズンベ ック) I	様々な事例について話し合うことにより、「感謝と思いやり」を学ぶ	1 ①	15	1	○		○			○		
○		ホテル実習	業界において必要とされる知識や技能を現場経験を通して修得する	1 ②	400	6			○		○	○	○	○
○		ホテル韓国語	韓国語での日常会話の基本的表現（挨拶など）やハングル文字を学ぶ	1 ③	20	1		○	○				○	
	○	Hotel Business English (選択)	ホテル業界における英文ビジネス文書に必要な表現や知識を学ぶ	1 ③	15	1		○	○			○		
	○	海外研修旅行 (選択)	海外のホテルでの研修を通して、国際的に活躍できるホテルエを目指し幅広い知識技術を学ぶ	1 ③	40	1			○		○	○		
○		ホテルマネジメントA	ホテル経営を中心に幅広く学び、ホテルビジネス実務検定の合格を目指す	2 前	60	4	○		○			○		

○		ホテルマネジメントB	ホテル経営を中心に幅広く学び、ホテルビジネス実務検定の合格を目指す	2後	45	3	○			○							
○		観光概論	観光旅行業界の現状をインバウンドを通して学ぶ	2前	15	1	○			○							○
○		HRS対策A	HRS検定の取得を目指し、筆記の対策授業を行う	2前	75	5		○		○							○
○		HRS対策B	HRS検定の取得を目指し、実技の対策授業を行う	2後	45	3			○	○							○
○		食品衛生	HRS検定の取得において、特に食品衛生分野の知識の習得に努める	2前	30	2	○			○							○
○		プロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2後	30	2	○			○							○
○		ホテル業界研究Ⅱ	ゼミ形式でホテルの各分野ごとに研究する	2後	30	2		○		○							○
○		宿泊実務Ⅱ	宿泊部門の役割、業務内容について前期からの応用させた内容を実戦形式で学ぶ	2前	15	1				○	○						○
○		ブライダル概論	ホテルのブライダル（婚礼）部門、ならびにブライダルマーケットを学ぶ	2後	15	1	○			○							○
○		ソムリエ	ワインについての基礎的な知識を学ぶ	2前	20	1				○	○						○
○		バーテンダー	カクテルを中心に酒について学び、オリジナルカクテルの製作を目指す	2後	30	2				○	○						○
○		サービス介助・手話	サービス介助・手話の知識を身に付ける	2後	30	2				○	○						○
○		ホテルコーディネート演習	ロビー、客室などホテル内の装飾・装花、コーディネートを学ぶ	2後	15	1				○	○						○
○		コンシェルジュオペレーション	コンシェルジュ業務を担ううえで必要な知識や情報を実践を通し学ぶ	2後	15	1		○		○							○
○		一般教養ⅡA	就職試験対策として基本事項を学ぶ	2前	30	2	○			○							○

○		一般教養ⅡB	就職試験対策として基本事項を学ぶ	2 後	15	1	○			○									
○		ホテル英会話ⅡA	ホテル業界で必要な英会話力をつける	2 前	30	2				○	○								○
○		ホテル英会話ⅡB	ホテル業界で必要な英会話力をつける	2 後	30	2				○	○								○
○		実用英語ⅡA	実用英語の取得、TOEICの高得点取得を目指す	2 前	60	4			○	○									○
○		実用英語ⅡB	実用英語の取得、TOEICの高得点取得を目指す	2 後	60	4			○	○									○
○		社会教養ⅡA	学生各人にあった就職活動を指導、早期内定を目指す	2 後	30	2	○				○								○
○		社会教養ⅡB	学生各人にあった就職活動を指導、早期内定を目指す	2 後	30	2	○				○								○
○		センスアップ	ホテルスタッフとしての洗練されたメイク・立ち居振る舞いや話し方、色彩の働きを理解する	2 前	30	2					○	○							○
○		ビジネス実務	来客電話対応など実社会に必要な実務能力を養う	2 後	15	1					○	○							○
○		茶道	基本の動作と客の作法、略手前ができるようになる	2 後	30	2					○	○							○
○		セールスプレゼンテーション	パワーポイントを使って、ホテルビジネスにおける販売促進について学ぶ	2 後	30	2				○	○								○
○		GCB(グローバルシティインパッション)Ⅱ	著名人や偉人の人生や教訓を通して、「志」を学ぶ	2 前	15	1	○				○								○
○		ホテル中国語	ホテルのビジネスシーンで使う中国語での表現や発音を学ぶ	2 前	30	2				○	○								○
合計				53科目	1950単位時間(100 単位)														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週